

日本風景となる造成地



# 募集要項 第4回 蕨賞学生 アイディアコンペティション

募集期間 平成29年2月1日～5月10日 (5月10日消印有効)

「瓦」(かわら)が歴史上、初めて登場したのは約2,800年前の中国といわれ、日本にはおよそ1420年前の西暦588年に百済から仏教とともに伝来し、飛鳥寺で使われたのが初めてとされています。その後、日本において「粘土瓦」は優れた特性と造形美により受け継がれ、屋根材料として広く普及し、長い間、日本の美しい風景をつくりだす重要な要素の一つとして、必要不可欠な存在となり歴史を刻んできました。

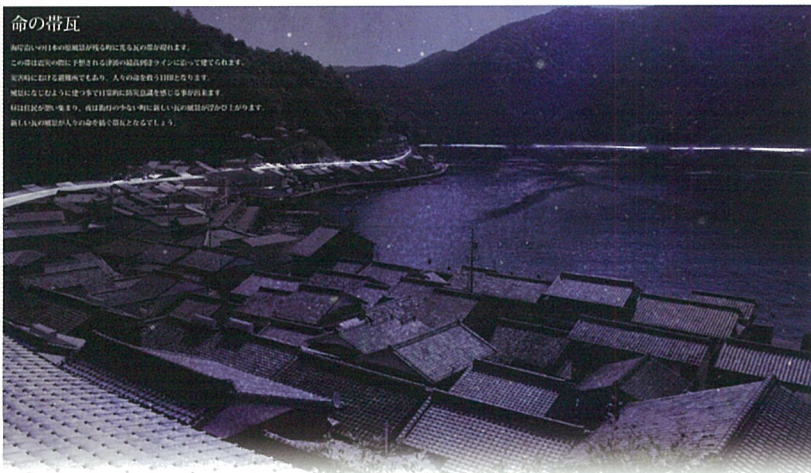
「瓦」の新たな魅力を求めて開催する「蕨賞」も、今回で17回目を迎えます。第15回開催からは次世代の建築を担う学生の方々を対象にした学生部門を新設し今回で4回目の開催となります。従来の感覚にとらわれない柔軟な発想により、その美しさは新たな魅力を放ち、発見と驚きをもたらしてくれることと思います。粘土瓦という素晴らしい素材を使い、新しい「瓦」のある風景を発見してくれることを期待しています。

主催 / 全国陶器瓦工業組合連合会 (一社) 全日本瓦工事業連盟

# 造瓦賞

iraka

題字書 / 岡本光平



命の帯瓦  
命の帯瓦は日本の伝統文化の象徴として知られています。この帯瓦は、昔ながらの技術で製造されており、美しいデザインと耐久性を兼ね備えています。また、その形状が独特で、雨や雪を効果的に排水する役割を果たします。命の帯瓦は、日本の伝統文化を次世代に伝える重要な役割を果たしています。

第3回 金賞「日本風景となる造成地」 銀賞「命の帯瓦」

## 受賞 学生部門 「瓦」が生み出す新たな風景

### 第4回 受賞学生アイデアコンペティション

# 賞 iraka 賞

#### 募集要項

#### ■課題 「東京オリンピック・パラリンピックの機会に日本の文化『瓦』の魅力を世界に発信する空間提案」

「瓦」が表現する新しい日本の風景が提案されることを期待しています。空間の大きさや用途などはすべて自由です。

#### ■応募資格

- ・国内外の大学院、大学、高等専門学校又は各種専門学校で建築を学んでいる者(学生)
- ・グループによる応募も可

#### ■募集期間

平成29年2月1日～5月10日(5月10日消印有効)

#### ■提出物 以下のものを送付してください。

(1)応募カード(ホームページからダウンロードできます。)

応募者情報をご記入ください。

(2)応募作品

A1サイズ用紙1枚に、コンセプト、PRポイント等を記載し、平面図、配置図、立面図、パース、模型写真、その他詳細図など設計意図を表現するのに必要と思われるものを各自選択して描いてください。縦使い、横使いを含めてレイアウトは自由。

表現方法は、鉛筆、インキング、着色、CGや写真などいづれも自由。

▼但し、以下の点に留意してください。

- ・パネル化の場合は、10mm以下のスチレンボード等に貼り付けて提出してください。
- ・粘土瓦を使用したイメージがわかりやすく表現されていること。
- ・送付に当たっては書類を折りたたまずに提出すること。
- ・入賞者にはデータをご提出いただきますので予めご了承ください。

※応募作品の著作権は、応募者に帰属します。ただし、主催者および後援者が本コンクールの趣旨に基づいて作品発表、PR等に利用する場合には、応募者は無償でこの使用を認めて頂く事とします。

※応募者の個人情報適切に管理いたします。

※応募作品は一切返却いたしませんので、必要な場合は予め複製しておいてください。

#### ■応募作品提出先

受賞事務局 〒444-1323 愛知県高浜市田戸町一丁目1番地1  
全国陶器瓦工業組合連合会高浜事務所内  
[TEL] 0566-52-1200 [FAX] 0566-52-1203  
[E-mail] info@kawara.gr.jp

●募集要項・応募用紙は下記ホームページからもダウンロードできます。

受賞事務局(愛知県陶器瓦工業組合) <http://www.kawara.gr.jp/>

全国陶器瓦工業組合連合会 <http://www.zentouren.or.jp/>

●瓦に関する情報は下記HPをご覧ください。(希望者には瓦パンフレットを送付)

受賞事務局(愛知県陶器瓦工業組合) <http://www.kawara.gr.jp/>

全国陶器瓦工業組合連合会 <http://www.zentouren.or.jp/>

石州瓦工業組合 <http://www.sekisyu-kawara.jp/>

淡路瓦工業組合 <http://www.a-kawara.jp/>

#### 審査委員 (敬称略)

- 委員長 池田靖史  
(建築家 日本建築学会理事 IKDS代表 慶應義塾大学教授)
- 委員 近角真一  
(建築家 集工舎建築都市デザイン代表 東洋大学大学院客員教授)
- 委員 堀場 弘  
(建築家 シーラカンスK&H代表 東京都市大学教授)
- 委員 杉浦宏美  
(経済産業省製造産業局生活製品課住宅産業室長)
- 委員 木村 実  
(国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長)
- 委員 薄井幸夫  
(全日本瓦工事業連盟理事長)
- 委員 野口安廣  
(全国陶器瓦工業組合連合会理事長)
- 委員 佐々木賢一  
(全国陶器瓦工業組合連合会副理事長)
- 委員 福原幸蔵  
(全国陶器瓦工業組合連合会副理事長)

#### 賞

- 金賞(1点) 賞状および・副賞10万円
- 銀賞(1点) 賞状および・副賞5万円
- 銅賞(1点) 賞状および・副賞3万円
- 佳作(5点程度) 賞状および・副賞1万円

※受賞点数については作品の審査結果により変動する場合がありますので、予めご了承ください。

#### 発表

平成29年6月中旬頃  
(審査の結果は入賞者に通知するとともに、日本屋根経済新聞、ホームページ等で発表します。)

#### 表彰式

平成29年8月28日 東京都港区 建築会館ホール  
(金、銀、銅受賞者は、必ずご出席をお願いします。)

#### 展示会

平成29年8月27日～8月31日  
建築会館ギャラリーにて入賞作品の展示を行います。

主催  
全国陶器瓦工業組合連合会 一般社団法人全日本瓦工事業連盟  
後援  
経済産業省、国土交通省、一般社団法人日本建築学会、  
公益社団法人日本建築家協会、公益社団法人日本建築士会連合会、  
一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、  
一般社団法人日本建築美術工芸協会、全国いぶし瓦組合連合会、  
株式会社日本屋根経済新聞社